

コロナ禍に負けないでね！ 新たな生活様式で前へ

新生児世帯への 臨時特別給付金

仙台市は、今年の4月28日から来年4月1日までに新生児の誕生した世帯に対し、5万円を給付することを決定しました。

ひとりの親世帯に 臨時特別給付金

この給付金は、全国一律の制度で、児童扶養手当を受給しているひとり親世帯等を対象に申請不要の「基本給付」5万円(第2子以降は3万円)と、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて家計が急変し収入が減少した方を対象に申請が必要な「追加給付」5万円があります。

水道の基本料金 7・8月分を減免

仙台市は、水道の基本料金と下水道の基本利用料を7・8月分について減免し、徴収しないことを決めました。手続等は不要です。

住居確保給付金

離職・廃業、やむを得ない休業などで住まいを失った方(失うおそれのある方)に代わって、家賃を大家さんに支払い、住居と就労の機会の確保を支援します。
【窓口は各区役所保護課】

緊急小口資金貸付

休業や失業等により生計を維持するために、一時的に生活福祉資金の貸付が必要となる世帯の方々に対し、緊急小口資金等の特別貸付を保証人不要・無利子で行っています。
【窓口は市社会福祉協議会等】

ご存知ですか？ マイナンバー

7月から申し込み開始。
実施は9月からです。

避難所のコロナ対応 仙台高校で意見交換

災害に備え、避難所の新型コロナ感染症防止対策を確認するため、市議団として仙台高校を6月5日に訪問し、校長から対応の状況を伺うとともに、諸課題について意見交換しました。



コロナ禍対策で市長に緊急要望 〈生活支援・学校の暑め対策など〉

公明党仙台市議団は、新型コロナに関して生活支援等の緊急要望を、7月16日までに6度にわたって行ってきました。
また、市内の学校へのエアコン

設置が遅れる一方で夏休みを短縮して授業を行う状況を懸念して、6月15日に改めて、学校の暑め対策等の緊急要望を行いました。



藤本副市長に対して、郡市長あての新型コロナに関する緊急要望書(第6次)を手渡し、申し入れました
=7月16日



郡市長、佐々木教育長(右側)に対し、学校の暑め対策で申し入れる市議団
=6月15日

公明党仙台市議団
〒980-8671 仙台市青葉区分町3丁目7-1
TEL 022-214-8718 FAX 022-711-3454
URL: <http://www.sendai-komei.jp>
Email: komei@sendai-komei.jp



公明党仙台市議団 ニュース

ひとりで悩まないでね。

開設から1ヶ月で
約100件の相談

仙台市では、6月1日に「いじめ等相談支援室 S-CKET」が開設されました。これは、第三者機関による、いじめ根絶のための相談施設です。
「学校に行きたくない」「友達がいじめられてるかも」等々、先生や家族に相談し

づらい悩みでも、電話やメール、面談で弁護士や心の専門家が相談員と一緒に解決を目指していきます。

公明党仙台市議団は、いじめや虐待などの解決に向け第三者による相談機関の早期設置を強く求めてきました。

開設から、1カ月で相談件数は、約100件に上っており、「ひとりで悩まないで気軽に相談を寄せたい」とのことです。



▲開所に先立ち「S-CKET」を視察し、準備の状況を確認する市議団=5月25日



コロナ禍の第1波を乗り越えたような感覚はありますが、第2、第3波に備えた対応と支援策を

進めなければなりません
◆ソーシャルディスタンスの浸透が急がれます。人とのコミュニケーションが阻害された3カ月、オンラインという新たなツールが人と人をつなぐ役目を果たしつつあります
◆コロナ時代・オンライン時代と言われる今、「励まし」をキーワードに、つながる大切さを実感します。私も、あなたも、誰も一人ではない。つながっているのですよ、と◆手紙、電話、LINE、そして顔の見えるオンラインを活かし、自ら発信する公明党市議団のひとりひとりでいたい、と心しています。
(市)

議員が語る「公明党仙台市議団の取り組み」



小野寺利裕
議員

6月定例会で、障がい者就労継続支援事業の販売スキルの向上や工賃拡大への支援強化を求めました。



障がい者就労継続支援事業を実施している多機能型施設「びあ」



佐々木真由美
議員

障がいのある子もいない子も一緒に遊べる、ユニバーサルデザインの遊具や空間を整備した「インクルーシブ公園」の新設を、求めました。



国立昭和記念公園の、車いすに乗ったまま、見て聞いて話して触って遊べる「わんぱく広場」の遊具



竹中栄雄
議員

新型コロナの影響から「音楽舞台芸術」を守るため、本市の関連するホール基本使用料の全額免除をはじめ、仙台市独自の助成実施を求めました。



新たな生活様式のもと、文化活動の復活を願うためのライトアップが行われています。写真は日立システムホール仙台



佐藤幸雄
議員

6月定例会の代表質疑で、コロナ禍の第2波対策として、医療従事者の安全対策と体制の強化を訴えました。



市立病院の入口には、手指消毒用アルコール、自動で検温するサーマルカメラが設置され、「面会禁止」への理解と協力を求めています。



嶋中貴志
議員

議員活動の活性化や議会運営の効率化を目指す「ICT化推進検討会議」を立ち上げ座長として推進しています。



議会ICT化推進検討会議では、タブレット端末の活用事例等を確認しました。



鈴木広康
議員

特別定額給付金10万円を速やかに市民の下へ届けるために、「全力を注ぎ」と訴えてきました。

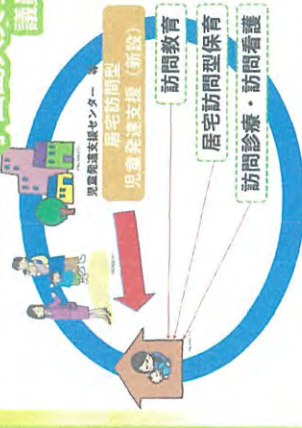


給付金の申請締め切りは8月26日(当日消印有効)です。7月31日午前現在、506,436件の申請(全世帯数の96.99%)に対して、505,589件が審査済み(申請数の99.8%)。そのほかの各種支援金制度も、該当の方は期間中の申請をお忘れなく!



小田島久美子
議員

求めてきた重い疾病を持つ児童宅を訪問した遊び等の発達支援事業が、6月定例会で実施の運びとなりました。



地域における医療的ケア児の支援体制の整備に向けて関係機関相互の連携が求められています。



鎌田城行
議員

電話リレーサービスが法制化したことを受け、6月定例会で聴覚障がい者への情報保障の一層の推進を求めました。



昨年視察した東京都荒川区では、手話ができるオペレーターを活用した窓口支援(遠隔手話通訳等サービス)や電話代行サービス(電話リレーサービス)を行っています。



佐藤和子
議員

コロナ禍の中で出産する妊産婦へのお祝い金支給と液体ミルク備蓄協定の実現を6月定例会で市長に迫りました。



仙台市図書館発行の「あかちゃんとおしゃべり」は初めての絵本は図書館員が選んだ0・1歳児向け絵本48冊やわらわらたなごを紹介。乳幼児検診時や「のびまこ」、各図書館で配布しています。

議員が語る「公明党仙台市議団の取り組み」